

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価

平成28年 8月

計画の名称	1 既存ストックを活かした持続可能なまちづくり									
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	愛知県 春日井市							
計画の目標	春日井市では名古屋圏のベッドタウンとしての住宅都市を目指し、土地区画整理事業を中心に都市基盤整備を進め、都市施設の量的整備により人口が増加し、鉄道駅利用者の利便性向上が急務となっている。また、長年にわたる基盤整備により整備された公園などの既存ストックを持続的に活用するための方策が課題となっている。都市計画マスタープラン（2010）においても「既存ストックを活用しつつ便利で安全・安心な住環境の整備促進」が課題とされている。このため既成市街地の中で課題を抱える地域において、駅自由通路、駅前広場、公園等の整備改修と市街地の再編を行い、便利で安全・安心な市街地の形成を図る。計画的に整備された公園施設等については、長寿命化の策定と施設の改築・更新を行い、将来にわたる持続的な活用を図る。 あわせて市民の環境に対する意識向上を目的として、駅周辺をモデルとした太陽光発電など環境施設の整備と市民への啓発活動等を実施し、持続可能なまちづくりを促進する。									
計画の成果目標（定量的指標）	1) 計画期間内の市街化区域内人口比率（住民基本台帳ベース）を84.95%から85.45%に増加させる。 2) 都市再生土地区画整理施行区域内の新規住宅等の着工件数を40件に増加させる。 3) 第五次春日井市総合計画推進の指標である市民満足度調査における「駅周辺が都市拠点としてにぎわっている」の満足度指数を、2.52（H22）から3.00（H27）に増加させる。 4) 第五次春日井市総合計画推進の指標である市民満足度調査における、「環境によい取組を行っている」と答えた市民の割合を、60.5%（H22）から77.0%（H27）に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 中間目標値 最終目標値 (H22当初) (H24末) (H27末)						
1) 市街化区域内人口比率 (住民基本台帳による市街化区域内の人口 / 住民基本台帳による市全体の人口 × 100%)	84.95%	85.13%	85.45%	備考						
2) 都市再生土地区画整理施行区域内の新規住宅等の着工件数 (施行区域内における新規住宅等の着工件数を計測する)	0件	10件	40件							
3) 「駅周辺が都市拠点としてにぎわっている」の満足度指数 (市民満足度調査において「駅周辺が都市拠点としてにぎわっている」の満足度を1（不満）～5（満足）で答えた指数の平均値)	2.52	2.76	3.00							
4) 「環境によい取組を行っている」市民の割合 (市民満足度調査において「環境によい取組を 行っている、行っていない」から「行っている」と答えた市民の割合(%))	60.5%	68.7%	77.0%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,089 百万円	A	3,186 百万円 (うち提案事業分 0円)	B	514 百万円	C	389 百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C)	9.51%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業に関わる全ての課（都市政策課、都市整備課、道路課、公園緑地課、河川排水課）による庁内の横断的な組織で検討会議を開催し、事後評価を実施した。	平成28年度 公表の方法 春日井市のホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	交通	一般	春日井市	直接	春日井市	都市交通システム整備事業	橋上駅舎・自由通路70m・駅前広場整備	春日井市						2,069	
1-A-2	都再区画	一般	春日井市	間接	土地区画整理組合	春日井庄名土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=11.3ha	春日井市						186	
1-A-5	街路	一般	春日井市	直接	春日井市	都市計画道路8・6・208号J R春日井駅自由通路整備事業	自由通路70m・橋上駅舎	春日井市						931	
合計													3,186		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-B-1	街路	一般	春日井市	直接	春日井市	都市計画道路廻間線整備事業	道路整備 448m	春日井市						514	
合計													514		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
1-B-1	春日井庄名土地区画整理事業（A-2）に関連し、土地区画整理事業区域内の幹線道路を整備することにより、周辺生活道路の利便性、安全性の向上を図る。														

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	施設整備	一般	春日井市	直接	春日井市	エコ駅整備事業	春日井駅周辺太陽光発電	春日井市						0	
1-C-3	施設整備	一般	春日井市	直接	春日井市	春日井市環境啓発広報事業	春日井駅自由通路大型広報モニター設置等	春日井市						0	
1-C-4	施設整備	一般	春日井市	直接	春日井市	春日井駅南口ポケットパーク整備事業	ポケットパーク整備 340㎡	春日井市						56	
1-C-5	施設整備	一般	春日井市	直接	春日井市	街区公園整備事業(松新公園、松新東公園、(仮)町屋公園)	公園新規整備 3箇所 1.00ha	春日井市						224	
1-C-7	施設整備	一般	春日井市	直接	春日井市	排水路整備事業	排水路整備 L=450m	春日井市						62	
1-C-8	施設整備	一般	春日井市	直接	春日井市	街区公園整備事業((仮)庄名公園)	公園新規整備 1箇所 0.35ha	春日井市						47	
合計													389		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	JR春日井駅の自由通路及び駅前広場等(A-1)に太陽光発電設備を設置することにより、自然エネルギーを活用し、環境に配慮した持続可能なまちづくりを推進する。	
1-C-2	JR春日井駅の自由通路整備(A-1)に併せ、駅前広場等にLED照明灯を設置することにより、省エネルギー化し、環境に配慮した持続可能なまちづくりを推進する。	
1-C-3	JR春日井駅の自由通路(A-1)に大型広報モニターを設置し、上記の効果促進事業による効果などをPRすることにより、環境に関する市民意識の啓発を行う。	
1-C-4	JR春日井駅の自由通路整備(A-1)に併せ、既存ストックである春日井駅南口駅前広場に隣接してポケットパークを整備することにより、人の滞留や拠点市街地におけるパブリックスペースとして活用し、都市機能の集約化を推進する。	
1-C-5	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(A-4)と一体的に事業を実施し、既成市街地の公園未整備地域に街区公園を整備することにより、既成市街地の持続的活用を図る。	
1-C-7	春日井庄名土地区画整理事業(A-2)と一体的に事業を実施し、幹線となる雨水排水路を整備することにより安全安心な市街地の形成を図る。	
1-C-8	春日井庄名土地区画整理事業(A-2)と一体的に事業を実施し、住民参加による公園まちづくりワークショップを行い、憩いの場の創設と災害時における避難場所を確保するため街区公園の整備を行う。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業や排水路整備事業、公園整備事業等の実施により、既成市街地の再編が図られ、住環境が改善されたと考えられる。 ・土地区画整理事業や廻り線整備事業の実施により、庄名地区の良好な住環境整備がなされ、地区の発展に寄与したと考えられる。 ・JR春日井駅の自由通路や橋上駅舎の工事が進捗し、市民の関心は高まっているが、供用開始には至っていないため、効果の発現があまり見られなかった。 ・JR春日井駅の自由通路等の供用開始が、当初予定より遅れたため、春日井駅周辺の太陽光発電等の環境施設整備が実施できず、効果の発現があまり見られなかった。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①(市街化区域内人口比率)	最終目標値	85.45%	目標値と実績値に差が出た要因	市街化区域において土地区画整理事業や排水路整備事業、公園整備事業等を実施し、良好な住環境整備がなされたため、目標値より人口比率が上回ったと思われる。
		最終実績値	85.51%		
	指標②(都市再生区画整理施行区域内の新規住宅等の着工件数)	最終目標値	40件	目標値と実績値に差が出た要因	予定より土地区画整理事業が順調に進んだため、平成27年度の使用収益の開始以後、着工件数が急激に増加した。
		最終実績値	106件		
	指標③(「駅周辺が都市拠点としてにぎわっている」の満足度指数)	最終目標値	3.00	目標値と実績値に差が出た要因	自由通路と橋上駅舎の供用開始が、当初予定より半年ほど遅れ、評価時に供用開始が間に合わなかったため、目標値の達成に至らなかった。第2期計画で継続的に事業を実施し、目標の達成を目指す。
		最終実績値	2.70		
	指標④(「環境により取組を行なっている」市民の割合)	最終目標値	77.0%	目標値と実績値に差が出た要因	予定していたエコ駅整備事業や春日井市環境啓発広報事業が実施できなかったため、目標値の達成に至らなかった。市民満足度調査において「LED照明の利用」や「太陽光システムの設置」など実際に取組んでいる市民は増加しており、環境に対する市民の意識が高まっているものの、同様な取組が広く浸透してきたことから、満足度としては減少したと思われる。今後、自由通路や橋上駅舎の工事に併せて、太陽光発電設備等を設置し市民意識の向上を目指す。
		最終実績値	51.6%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

—

3. 特記事項(今後の方針等)

【効果を持続させるテーマ】 JR春日井駅周辺のにぎわい創出

【効果を持続させるための基本的な考え方】

都市拠点としての魅力を高めるため、自由通路や橋上駅舎の整備を早急に進める。併せて、駅前広場の整備、JR春日井駅南東地区市街地再開発に着手し、駅周辺のにぎわいを創出する。

【想定される事業案】

- ・自由通路整備
- ・橋上駅舎整備
- ・駅前広場整備
- ・JR春日井駅南東地区市街地再開発事業

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 既存ストックを活かした持続可能なまちづくり		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	愛知県春日井市

